

令和2年度

ボランティアについてのQ&A



日応寺の自然を活かした活動を、ボランティアを通じて体験しよう！

岡山市立少年自然の家は、どんなところ？

岡山駅から北へ約20kmの所にあり、近くには岡山空港やレスパール藤ヶ鳴等の施設があります。

自然の中で、体験学習をし、「自律・協同・友愛・奉仕」の心を身につけ、心身ともに健やかな少年を育成する社会教育施設です。

岡山市立少年自然の家

シェアリングネイチャーキャンプ実行委員会

Q ボランティア募集をする事業は何ですか？（令和2年度予定）

SNCⅢ（シェアリングネイチャーキャンプ）

対 象：小学校4年生から中学生、40名

開催日：8月20日（木）～23日（日）

【3泊4日】

主 催：シェアリングネイチャーキャンプ実行委員会



カンちゃん

クウちゃん

自然の中での学習会Ⅱ

対 象：小学校1年生から3年生、60名

開催日：12月25日（金）～27日（日）

【2泊3日】

主 催：岡山市立少年自然の家

Q どんな活動をするのですか？

令和元年度は・・・

SNCⅢは、
テント泊、野外炊事、農業体験、谷川体験、古民家体験、
ナイトハイク、キャンプファイヤー、うちわ作り【紙漉き】
など。

学習会Ⅱでは、
館内探検、冬野菜の収穫体験、羽子板づくり、自然散策、
すごろく・神経衰弱、講師の先生による紙芝居など。



るりちゃん

Q 全日程に参加できないとダメですか？



全日程への参加を基本としていますが、
どうしても都合が付かない場合は、相談
してください。

Q ボランティアは、何をしていますか？

担当している班の子どもたちが、安全に活動できるようにサポートをします。

また、子どもたち同士のかかわりがもてるようにするために、ボランティアがきっかけをつくります。活動で戸惑いを感じている子どもがいれば支援（声かけ、一緒に活動するなど）をします。



Q 費用は、かかりますか？



シュレーゲルアオガエル

宿泊代、食事代、活動材料費、保険料等は、少年自然の家で負担します。

少年自然の家の送迎バス以外の交通費は、各自で負担してください。

Q 交通手段は、何ですか？

自家用車で来られてもいいですし、岡山駅西口まで、マイクロバスで無料送迎します。



Q ボランティア研修はありますか？



事業初日に、受付開始時間より早く来ていただき、ボランティア同士のアイスブレイクと子どもへの支援の仕方などについて研修があります。また、就寝時間後に、担当職員との研修やボランティア同士での意見交換の時間もあります。

Q ユニフォームはありますか？

ありません！



Q 服装は、どんなものでもいいですか？



中心は山の中での活動になりますので、活動しやすく汚れてもいい服装をお願いします。
いろいろな虫などもありますので、長袖・長ズボン・帽子が基本の服装になります。
火を使用する活動がある場合は、ナイロン製の生地だと火の粉で、穴が空くことがあります。

Q 今後、行きたくなったらいつまでに連絡をすればいいですか？

募集締め切りまでに参加申込書を、
FAX(086-294-1465)、または郵送してください。
申込書の内容を確認させていただき、確認のお電話をさせていただきます。

それぞれの募集締め切りは、
SNC(シェアリングネイチャーキャンプ)Ⅲ・・・令和2年7月21日(火)必着
自然の中での学習会Ⅱ・・・・・・令和2年11月27日(金)必着
※人数が多い場合、参加者の人数と学校に偏りが出ないように
抽選をさせていただきます。



Q 連絡方法は、メールではダメですか？



連絡方法は、電話でさせていただきます。
今のところ、メールでの連絡は考えていません。

Q 参加するメリット（良さ）は何ですか？



いろいろな子どもたちの様子を知ることができ、子どもたちへのかかわり方の勉強にもなります。また、子どもと関わるので、子どもの成長を感じ取ることもできます。

多くのボランティアが参加するので、お互いの情報交換の場にもなりますし、交流の場が広がります。

Q 教育学部（科）でなくてもかまわないですか？

子どもたちにかかわることが大好きで、
意欲があれば、学部等は問いません。



【令和元年度 参加されたボランティアの方々の声】

SNCⅢ

- ◆学年の異なる子どもと一緒に活動しているのを見て、発達段階の違いを実感することができました。子どもがケガをしたときや調子が悪いときにどんなふうに伝えてくるかやどんなことをより聞いたら良いのかなど、子ども1人1人の性格やその時の気持ちによって異なることが分かりました。気分によって考え方や行動も変わることを知ることができ、その対応について考え、色々な関わり方を試してみることができました。
- ◆子ども1人1人違った指導でないといけないことや、感想文を通して楽しんでいるのか、最初不安な子どももどうだったのかなど様々なことを学びました。様々な施設でボランティアに参加したことがあるが、子どもの感想文にコメントを書くことがなかったので、とても良い経験になりました。
- ◆様々なタイプの子どもが集まって来ているので、それぞれの子どもに合った対応の仕方考えることができました。この子にはどうするべきか、どう感じているのか、子どもと同じ考えだったり、違っていたりするので、子どもと話をすることの大切さを改めて感じました。

自然の中での学習会Ⅱ

- ◆集団行動が苦手な子どもや、言うことが守れない子どもにはどのように支援・指導をするのか、自分の力だけでなく他の職員の意見を聞き、集団（チーム）で対応する大切さが分かりました。
- ◆自分の担当の子どもたち1人1人と関わる事ができました。また、1つ1つの活動を積み重ねる中で、子どもたちの成長を間近に感じることができました。実習では学ぶことができなかった、低学年への声かけの仕方（持ち物、時間）の難しさを学びました。
- ◆子どもたちとの関わり方として、最初の関係の築き方や親しくなった状況での接し方・指導方法などを学ぶことができました。ボランティア経験もないなかで、1日ごとのボランティア同士の意見交換もとても有意義な時間でした。

みなさんの参加、お待ちしております。

よろしく願いいたします。

